

熊本県立第二高等学校 1 学年「国語総合」シラバス（5月7日～5月15日分）

1. 単元 現代文「羅生門」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の意味を調べ、語彙力をつける。</li> <li>・ 文学作品の表現技巧を把握し、文学的文章を正しく読解する。</li> <li>・ 芥川龍之介について知る。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優れた描写を味わうことを通して、ものの見方、感じ方を広げる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画を立て、実施し、取組をふり返る。</li> <li>・ 「羅生門」の続きの創作、読後の感想文を書くことで、人間の生き方について考察を深める。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本文に出てきた語句や慣用句の意味を正しく理解できる。</li> <li>② 表現技巧を把握し、学的文章を正しく読解できる。</li> <li>③ 芥川龍之介に関する基本的な知識を得ることができている。</li> </ol> <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 芥川龍之介の他作品「杜子春」との比較により、文学作品の表現技巧の効果について考察する。</li> <li>⑤ 「羅生門」の続きの創作、読後の感想文を書くことで、人間の生き方について考察を深め、考えたことについて正しく表現することができる。</li> </ol> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑥ 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。</li> <li>⑦ 「羅生門」の続きの創作や感想文で、自分が考えたこと、感じたことを意欲的に伝えようとしている。</li> </ol>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	小説「羅生門」	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書P22～P35の音読</li> <li>・ 読めなかった漢字について、読み方と意味を調べる。</li> <li>・ 学習プリントにある語句の意味を調べる。</li> </ul>	学習プリントの提出	①
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芥川龍之介の『杜子春』を読む。</li> <li>・ 学習プリントに沿って、『羅生門』と『杜子春』の冒頭部の比較をし、表現効果について考察する。</li> </ul>	学習プリントの提出	④
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習プリントの読解問題 問1～問10を解く</li> </ul>	学習プリントの提出	②
		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習プリントの読解問題 問1～問10を解く</li> </ul>	学習プリントの提出	②
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン動画による解説を視聴し、答え合わせ、見直しをする。また、作者について調べる。</li> </ul>	学習プリントの提出	② ③
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習プリントで『羅生門』の続きを創作する。</li> <li>・ 「読後の感想文」を書く。</li> </ul>	学習プリントの提出	⑤ ⑦

熊本県立第二高等学校 1学年「国語総合」シラバス（5月7日～5月15日分）

1. 単元 古典「児のそら寝」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いとその読み方を正しく理解する。</li> <li>・古文と現代文の違いを知り、単語や文法を意識して読むことができる。</li> <li>・本文中における古語の意味を古語辞典を使って自分で調べることができる。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開を正確に読み取る。</li> <li>・「児」の心情の動きを理解するとともに、「僧たち」の笑いが生じた理由についても本文の展開に即して理解することができる。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典における基礎項目の重要性を理解し、内容の定着のために繰り返し復習に取り組む。</li> <li>・古文の内容に興味を持つとともに、必要に応じて古語辞典等を用いるなど、主体的に学習に取り組もうとする。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①歴史的仮名遣いのルールを正しく理解し、本文を正確に音読することができる。</li> <li>②教科書に示された本文の口語訳を理解する。</li> <li>③歴史的仮名遣いや語の活用に注意しながら、古語辞典を用いて語句の意味を調べ、正しく理解できる。</li> </ol> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④口語訳を参考に、単語や文法の持つ意味と果たす役割を意識して内容を正確に読むことができる。</li> <li>⑤「児」の心情、「僧たち」の笑いについて、本文の表現・文脈に注意して、根拠を持って読み取ることができる。</li> </ol> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑥新しい知識を積極的に吸収しようとし、不明な点については古語辞典や教科書を用いて自分で調べることができる。</li> <li>⑦内容の読み取りにおいて、本文中の表現に基づいて、自分なりの解釈を持つことができる。</li> </ol>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	古文入門から「児のそら寝」	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P236～P237の音読。</li> <li>・口語訳の確認。</li> <li>・教科書P238～239を参考に、古語辞典を用いて、学習プリントの「語句」と「文法」の項目に取り組む。</li> </ul>	学習プリントの提出	① ②
第2回		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P236～P237の音読。</li> <li>・学習プリントの「内容の整理」と「読解」の項目に取り組む。</li> </ul>	学習プリントの提出	③ ④ ⑤
第3回		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P236～P237の音読。</li> <li>・クラッシーで配信された解答・解説を用いて、学習プリントの答え合わせを行うとともに、間違った部分の見直しや新しくわかった内容を「学習プリント」に書き込む。</li> </ul>	学習プリントの提出	⑥ ⑦
第4回		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「五十音図」や「いろは歌」、「歴史的仮名遣いの読みかた」について復習し、復習した内容をノートにまとめるとともに、学習支援動画を視聴して、理解を深める。</li> </ul>	学習支援動画の視聴 ノートの提出 学習プリントの提出	① ③ ⑥

## 1 学年「現代社会」シラバス（5月分）

### 1 単元 （1節）民主政治における個人と国家 （2節）基本的人権と法の支配

2 単元の目標	3 評価規準
<p><b>【知識・理解】</b> 西洋近代憲法の原理について、基本的事項を理解し、その知識を身につけている。</p> <p><b>【思考・判断】</b> 西洋近代憲法の原理を学習する中で、課題を見出し、多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> 憲法の基本原理に関心を高め、意欲的に課題を追究する態度を持てる。</p> <p><b>【資料活用の技能・表現】</b> 基本原理に関する諸資料を適切判断し選択して、有効に活用できる。</p>	<p><b>【知識・理解】 A</b> 国家の三要素・法の支配・基本的人の保障・権力分立の意味を理解できたか。</p> <p><b>【思考・判断】 B</b> 西洋史を理解するだけでなく、日本の現代社会が抱える問題や課題と照らし合わせて、判断することができたか。</p> <p><b>【関心・意欲・態度】 C</b> 憲法の基本原理を学習するにあたって、その歴史的背景や関連思想について関心を持つことができたか。</p> <p><b>【資料活用の技能・表現】 D</b> バージニア権利章典やフランス人権宣言等史料を活用し、有効に活用できたか。</p>

#### 4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容（動画で指示）	評価方法	評価規準
第1回	1節 民主政治における個人と国家	1	① 教科書 p 52～ p 53 を読む ② 国家の三要素と二つの国家像について	Forms による 確認テスト	A B C
		2	① 教科書 p 53～ p 55 を読む ② 王権神授説と社会契約説 ③ 社会契約説の3人の思想家	Forms による取組の振り返りアンケート	A C D
第2回	2節 基本的人権と法の支配	4	① 教科書 p 56～ p 57 を読む ② 自然法と実定法の違い ③ 法と道徳の違い／契約	Forms による 確認テスト	A B C
		5	① 教科書 p 58～ p 59 を読む ② 法の支配と法治主義の違い ③ 権力分立とその目的	Forms による 確認テスト	A B C
		6	① 教科書 p 60～ p 61 を読む ② 自由権と社会権	Forms による 確認テスト	A C D
		7	③ 教科書 p 60～ p 61 を読む ④ 世界人権宣言と国際人権規約	Forms による取組の振り返りアンケート	A C D

## 第二高等学校 1 学年普通科「数学 I」シラバス（5 月分）

### 1. 単元 第 1 章 数と式 第 2 章 集合と命題 第 3 章 2 次関数

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式の計算、集合の記号、関数の変化について理解し、基礎的な技能を習得する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数と式、集合と命題、2 次関数について、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりする。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、実施し、取組を繰り返す。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 種々の計算ができる。</li> <li>② 論理を組み立てることができる。</li> <li>③ グラフをかき、変化を読み取ることができる。</li> </ol> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 数と式、集合と命題、2 次関数について、事象を数学的に処理する仕方や論理展開の流れを捉えることができる。</li> </ol> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑤ 計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。</li> </ol>

### 4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	節末問題演習	教科書 p. 21, 32 (6~8) を解く	後日にノート提出  もしくは Classi のコンテンツボックスに画像で提出	①
第 2 回	節末問題演習	教科書 p. 32 (9~11), 44 を解く		①
第 3 回	集合	教科書 p. 48~53 について、解説動画を見て練習問題を解く。		①
第 4 回	命題	教科書 p. 54~58 について、解説動画を見て練習問題を解く。		②
第 5 回	命題と証明	教科書 p. 59~62 について、解説動画を見て練習問題を解く。		②④
第 6 回	関数とグラフ	教科書 p. 68~73 について、解説ノートを見て練習問題を解く。		①③
第 7 回	2 次関数のグラフ	教科書 p. 74~76 について、解説動画を見て練習問題を解く。		①③
第 8 回	2 次関数のグラフ	教科書 p. 77~79 について、解説動画を見て練習問題を解く。		③④
第 9 回	節末問題演習	教科書 p. 80~82 について、解説ノートを見て練習問題を解く。		④⑤
第 10 回	2 次関数の最大・最小	教科書 p. 83~85 について、解説動画を見て練習問題を解く。		③④
第 11 回	関数の最大・最小と場合分け	教科書 p. 86~87 について、解説動画を見て練習問題を解く。		①③④
第 12 回	最大・最小の応用	教科書 p. 88~89 について、解説動画を見て練習問題を解く。		① ③ ④

## 第二高等学校 1 学年普通科「数学 A」シラバス（5 月分）

### 1. 単元 第 1 章 場合の数と確率

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式の計算、場合の数の記号、法則について理解し、基礎的な技能を習得する。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場合の数と確率について、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりする。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、実施し、取組をふり返る。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 種々の計算ができる。</li> <li>② 様々な場面に応じて問題を読み取り立式できる。</li> <li>③ 論理を組み立てることができる。</li> </ol> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 場合の数と確率を数学的に処理する仕方や論理展開の流れを捉えることができる。</li> </ol> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑤ 画を立て実施し取組をふり返ることができる。</li> </ol>

### 4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	集合の要素の個数、場合の数	教科書 p. 12～17 について、解説動画を見て練習問題を解く。	後日にノート提出  もしくは Classi のコンテンツボックスに画像で提出	①
第 2 回	和の法則、積の法則 順列	教科書 p. 18～23 について、解説動画を見て練習問題を解く。		①②
第 3 回	順列、円順列	教科書 p. 24～27 について、解説動画を見て練習問題を解く。		②④
第 4 回	重複順列、組合せ	教科書 p. 28～31 について、解説動画を見て練習問題を解く。		①②
第 5 回	組分けの総数、同じものを含む順列	教科書 p. 32～34 について、解説動画を見て練習問題を解く。		②④
第 6 回	重複組合せ	教科書 p. 35～37 について、解説/動画を見て練習問題を解く。		④⑤

第二高等学校 1 学年「物理基礎」シラバス (5 月分)

1. 単元 第1章 力と運動、 第2章 力と運動 (⑩力の合成と分解まで)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>第1章 直線運動と加速度運動について理解する。</p> <p>第2章 物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。</p> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <p>第1章 <math>v-t</math> グラフ等を作成し、公式を用いた計算をする。</p> <p>第2章 力の三要素を理解し、作図及び公式を用いた計算をする。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <p>○計画を立てて実施し、新たな課題を見出す。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①直線運動における運動の表し方を理解できる。</p> <p>②物体にはたらく力の表し方を理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③グラフ等から加速度と速度、変位及び時間の関係を理解できる。</p> <p>④作図したさまざまな力が及ぼし合うことを理解できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑤計画を立て実施し、取組をふり返ることができる。</p>

4. 授業計画

回	内 容	教科書 ページ	研究ノート (問題番号)	参 考 動 画 等 NHK 高校講座「物理基礎」	評価 基準
1	速さと速度・等速直線運動 速度の合成・相対速度	006~015	6, 7, 8	第2回 速さと速度 第3回 等速直線運動	①③
2	加速度・等加速度直線運動	016~021	16, 17, 18, 19	第4回 加速度 第5回 等加速度直線運動	①③
3	重力加速度と自由落下	022, 023	26, 27	第6回 重力加速度	①③
4	鉛直投射	024~026	28, 29	第7回 放物運動	③⑤
5	力とは何だろうか	030~033	46, 47	第8回 力とは	②④
6	力の合成と分解	034, 035	48, 49, 50	第9回 力の合成と分解	②④

○ 評価について

- 1 Claasi 又は Forms による確認テストを定期的に行い、評価とする。
- 2 Claasi 又は Forms によるまとめテストを行い、評価とする。
- 3 登校日に提出する、研究ノートの内容を評価とする。

第二高等学校 1 学年普通科「生物基礎」シラバス（5月15日まで）

1. 単元 (1) 生物基礎を学ぶにあたって

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考える。</li> </ul> <p><b>【観察・実験の技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定を行う。</li> </ul> <p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求める。</li> <li>DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解する。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>①生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考えることができる。</p> <p><b>【観察・実験の技能】</b></p> <p>②顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定ができる。</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>③長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求めることができる。</p> <p>④DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解できる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	生物基礎を学ぶにあたって	・教科書 P6～7 を読み、教科書の内容と既習事項を参考にして、研究ノート P8～12 をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。	課題提出 定期考査	①
第2回		・研究ノート P13～18 をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。	課題提出 定期考査	①
第3回		・教科書 P11～12, 18～20 を読み、P12 の設問を考える。教科書の内容を参考にして研究ノート問題番号 5, 7 をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。	課題提出 定期考査 今後行う実験のレポート	②

第二高等学校 1 学年普通科「生物基礎」シラバス（5月30日まで）

1. 単元 (1) 生物基礎を学ぶにあたって (2) 生物の多様性と共通性

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考える。</li> </ul> <p><b>【観察・実験の技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定を行う。</li> </ul> <p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求める。</li> <li>DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解する。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>①生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考えることができる。</p> <p><b>【観察・実験の技能】</b></p> <p>②顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定ができる。</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>③長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求めることができる。</p> <p>④DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解できる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第4回	生物基礎を学ぶにあたって	・教科書 P13～17, 29 を読み、P13, 14, 17 の設問を考える。教科書の内容を参考にして、研究ノート問題番号 6, 12 をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。	課題提出 定期考査 今後行う実験のレポート	② ③
第5回	生物の多様性と共通	・教科書 P28～33 を読み、教科書の内容を参考にして研究ノート問題番号 2, 3, 4 をルーズリーフ等に解き答え合わせをする。	課題提出 定期考査	① ④
第6回	性	・教科書 P22～27 を読み、教科書の内容と既習事項を参考にして研究ノート問題番号.1 と、P24 ウォーミングアップをルーズリーフ等に解き答え合わせをする。	課題提出 定期考査	① ④



第二高等学校 1学年「保健」シラバス(5月分)

単元名	授業 回	実施日	項目名	学習のねらい	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
1単元 現代社会と 健康	1	4/20～	私たちの健康のすがた	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について、資料等で調べたことをもとに、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明すること	平均寿命の伸びと死亡率の低下、健康水準向上の背景、生活習慣病の増加、わが国の新たな健康問題について、基礎的な事項を理解している。
	2	4/27～	健康のとらえ方	健康についての多様な考え、健康の成り立ちとその要因について理解し、説明することができる。	健康についての多様な考え、健康の成り立ちとその要因について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康についての多様な考え、健康の成り立ちとその要因について、生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明すること	WHO憲章での健康の考え、生きがいや重視した健康の考え、健康の成り立ちにかかわる要因が変化していること、さまざまな主体要因と環境要因についての、基礎的な事項を理解している。
	3	5/4～	健康と意志決定・行動選択	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解し、説明することができる。	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。	意志決定・行動選択にかかわる個人的・社会的要因、情報の収集、計画と評価、社会的な影響力への対処について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	4	5/11～	健康に関する環境づくり	健康づくりを支える環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて理解し、説明することができる。	健康づくりを支える環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康づくりを支える環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて学習したことを、個人および社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりする生活習慣病およびその予防法について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断することができる。	健康づくりを支える自然環境および社会環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	5	5/18～	生活習慣病とその予防	生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができる。また、生活習慣病の予防について理解し、説明することができる。	生活習慣病およびその予防法について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	生活習慣病およびその予防法について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断することができる。	成人病、生活習慣病の呼称の由来や病例、生活習慣病の予防対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	6	5/25～	食事と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について、資料等で調べたことをもとに、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。	健康的な食生活の重要性、食事の今日的課題としてエネルギーの過剰摂取による肥満やメタボリックシンドローム、健康的な食生活習慣の形成について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

熊本県立第二高等学校 1 学年「コミュニケーション英語 I」 シラバス (5 月分)

1. 単元 領域「読むこと」「書くこと」(Lesson2~Lesson10)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<b>【知識及び技能】</b> ・ 単語や表現を理解する。 ・ 文章の要点を理解する。 <b>【思考力, 判断力, 表現力等】</b> ・ 学んだことを生かして自分の意見を書く。 <b>【学びに向かう力, 人間性等】</b> ・ 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 ・ 辞書を活用したり、解説動画などを活用したりし、自ら学ぶ。	<b>【知識・技能】</b> ① 単語や表現を理解できる。 ② 文章の要点を理解できる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ③ 学んだことを生かして自分の意見を書ける。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ④ 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。 ⑤ 辞書を活用したり、解説動画などを活用したりし、自ら学ぶことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	「読むこと」 Story①	1	マンデラ首相が黒人差別に対して取組んだことについて知る。	テキストの解答状況の確認 (提出/郵送)	①② ⑤
第2回	「読むこと」 Story②	2	南アフリカのラグビー選手たちの自国に対する思いを知る。		①② ⑤
第3回	Lesson2~ Lesson10	3	Classi の解説動画や辞書や文法書・テキストを活用して教科書本文を振り返る。		①② ③ ④⑤
第4回	の振り返り テキストの	4			
第5回	Word Hunt に取り組む。	5			
第6回		6			
第7回		7			
第8回		8			
第9回		9			テキストでの振り返り 自己評価記入

\* 1回~10回まで解説動画を classi で配信し、理解を深める支援とする

\* 質問については Forms でアンケートをとり、再度動画解説や補足資料の配信など補助的な支援を行う。

熊本県立第二高等学校 1 学年「英語表現 I」シラバス (5 月分)

1. 単元 領域「書くこと」(教科書の文法の振り返り)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストを通して学んできた各項目の文法を理解する。</li> </ul> <p><b>【思考力, 判断力, 表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを生かして英作などの表現をする。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力, 人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、実施し、取組をふり返る。</li> <li>・文法書を活用したり、解説動画などを活用したりし、自ら学ぶ。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>① テキストを通して学んできた各項目の文法を理解できる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>② 学んだことを生かして英作文を書ける。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>③ 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。</p> <p>④ 文法書を活用したり、解説動画などを活用したりし、自ら学ぶことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	文法の振り返り DUALSCOPE の活用	1	Classi の解説動画を使ったり 文法書を利用したりしてまとめる。	(1) テキストの解答 状況の確認 (提出/郵送)	①② ③④
第2回		2			
第3回		3			
第4回		4			
第5回		5			
第6回		6			
				(3) web テスト等での 文法項目の確認	

\* 1回～6回まで解説動画を Classi で配信し、理解を深める支援とする。

\* 質問については Forms でアンケートをとり、再度動画解説や補足資料の配信など補助的な支援を行う。

第二高等学校 1 学年 音楽 I シラバス (5 月 7 日～15 日)

1. 単元 鑑賞「ボレロ」(モリス・ラヴェル作曲) - 西洋の舞台芸術

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>1 楽曲・演目の文化的・歴史的背景や、作曲家について理解すること。</p> <p>2 楽器の特徴と表現上の効果との関わりを理解すること。</p> <p>3 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して鑑賞の準備をすること。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①音楽的な見方・考え方を働かせて、楽曲の文化的・歴史的背景や構造と、曲想との関わり及びその多様性について、音楽活動を通して理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②楽曲や演奏を解釈したり、生活や社会における音楽の価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③計画を立て実施し取組をふり返ることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	「ボレロ」①	1	教科書MOUSA1 (P.132-133) 作曲家について 楽曲が制作された背景	課題プリントの提出 による確認	①
第 2 回	「ボレロ」②	2	楽曲に使用される楽器の特徴  芸術共通課題プリント①を使用		②
					③

第二高等学校 1学年「美術Ⅰ」シラバス（5月7日～5月15日分）

1. 単元 （1）作品・作家調べ

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品の造形的な美しさ、目的や機能との調和のとれたデザインの良さを感じ取れるようにする。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の背景にある作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められるようにする。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に鑑賞する態度を養う。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>①美術作品の造形的な美しさ、目的や機能との調和のとれたデザインの良さを感じ取ることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>②作品の背景にある作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>③主体的に鑑賞に取り組むことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	休校中の課題① 「作品・作家調べ」	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書から自分の好きな作品を選び模写する。</li> <li>・その作品を選んだ理由を言葉にする。</li> </ul>	ワークシート 設問（1）（2）	① ③
第2回	休校中の課題① 「作品・作家調べ」	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作家について調べたことをまとめる。</li> <li>・作品について再度考察する。</li> </ul>	ワークシート 設問（3）	① ② ③

## 第二高等学校 1 学年「書道 I」シラバス（5月7日～5月15日分）

### 1. 単元 （1）硬筆 ～校歌・生徒歌を書こう～

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二高校の校歌、生徒歌を知る。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に表現するため、文字の大きさや配置、行間を工夫する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に取り組み、振り返りを行う。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 第二高校の校歌、生徒歌を知ることができた。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 効果的に表現するため、文字の大きさや配置、行間を工夫することができた。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 計画的に取り組み、振り返りを行うことができた。</li> </ul>

### 4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	硬筆「校歌」 ※休校中の課題プリント①	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された箇所に丁寧に書き写す。</li> <li>・知らない単語や言葉を辞書で調べる。</li> </ul>	課題プリント	① ② ③
第2回	硬筆「生徒歌」 ※休校中の課題プリント①	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された箇所に丁寧に書き写す。</li> <li>・知らない単語や言葉を辞書で調べる。</li> </ul>	課題プリント	① ② ③

熊本県立第二高等学校 1 学年普通科・美術科「家庭基礎」シラバス（5 月分）

1. 単元 オリエンテーション／第1章自分らしい人生をつくる／第6章衣生活をつくる

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクトという学び方を知る。</li> <li>・被服の役割・材料等の基本知識を知る。</li> <li>・家族に合ったマスクを作る。</li> <li>・素材に合わせて洗濯する。</li> </ul> <p><b>【思考力, 判断力, 表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に合わせた大きさ、適した素材、型紙などの選び方を知る。</li> <li>・洗濯の必要性和洗濯の意義を知る。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力, 人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホームプロジェクト」により、学習のプロセスについて学ぶ。</li> <li>・新しく知ったことの社会的意味を発見する。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>I：①現代社会の家族の問題の概要を理解できる。</p> <p>・②被服の役割や材料等について</p> <p>C：③マスクを製作することができる。</p> <p>E：④衣替えの必要性を理解し、必要な素材の洗濯ができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>C：⑤家族関係の用語を英語で表現できる。</p> <p>⑥素材に合わせた洗い方・洗剤・保管方法を説明することができる。</p> <p>E：⑦家族に適した素材や形・素材を選定することができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>C：⑧ホームプロジェクトの学習法を知ること、学習のプロセスを意識した取組をしようとする。</p>

3 資料 「学習設計マニュアル」※1年次に使用

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	オリエンテーション 第1章自分らしい人生をつくる	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 p 4～7 を読む。</li> <li>・教科書 p 14～31 を読む。</li> <li>・読んだ中で重要語を10個選ぶ。</li> <li>・それらを英語表現にする。</li> </ul>	Classi 配信 名：家族を見つめよう	① ⑤ ⑧
第2回	第6章衣生活をつくる ①②	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 p 126～139 を読む。</li> <li>・家族に合ったマスクを作る。 サイズ・形の検討／型紙の検討／素材の検討</li> </ul>	Classi 配信 名：被服チェック Classi 配信 名：マスクを作ろう	② ③ ⑦
第3回	第6章衣生活をつくる ③④	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 p 140～150 を読む。</li> <li>・家族の洗濯をする。 衣替えのための素材を検討／適した洗剤・洗い方の検討／保管方法の検討</li> </ul>	Classi 配信 名：洗濯をしよう	③ ⑥

\*なお、4月にオリエンテーションとして、中学校までの学びの振り返り／この1年間の学びをグラフィックシラバスムービーで視聴／学ぶにあたっての記述／自立度チェック／家族に関する新聞記事、の各取組を終えています。

第二高等学校 1 学年「GR及びAS (情報分野)」シラバス (5 月分)

1. 単元 問題解決のためのコンピュータの活用

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りから具体的な問題を発見する。</li> <li>・問題解決のため情報収集や整理を行う。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を分析する。</li> <li>・表やグラフを活用し、成果を表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に向け計画を立て、実施する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決すべき問題を文章などの形で明確にできる。</li> <li>・問題解決のために必要な情報の収集・整理ができる</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③収集した情報等をもとに問題を的確に分析できる</li> <li>④問題解決の経過や成果を表やグラフで表現できる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤問題解決に向け計画を立て実施することができる</li> </ul>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決のプロセス</li> <li>・情報の分析</li> <li>・解決方法の考案</li> </ul>	1	◎教科書68ページの「問題解決の方法と手順」のうち「問題の明確化～解決案の検討・評価」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期限までに課題シートを作成し、Classiを活用し提出する。</li> </ul>	① ② ③
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決方法の選択</li> <li>・問題のモデル化</li> </ul>	1	◎Classiを通じて配信するシートをもとに課題を設定し、解決に向けての取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題提起や課題解決方法が明確に示されているか。</li> </ul>	④ ⑤
第3回		1	◎毎時間の成果物は電子データ化し、Classiのポートフォリオやアンケート機能を活用し提出を行う。		



熊本県立第二高等学校 1 学年普通科「GR」・美術科「AS」・理数科「SS」シラバス（5月分）

1. 単元 (1)「学び方を学ぶ」

2. 単元目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルの4分類を知る。</li> <li>・VAKT 学習スタイルを知る。</li> </ul> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学びをデザインすることの必要性について説明する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく知ったことの社会的意味を発見する。</li> <li>・学び方を自分で振り返るためのメタ認知について説明する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>I : ①ライフスタイルの4分類がわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>C : ②VAKT 学習スタイルの分類枠を活用できる。</p> <p>E : ③自分の学びをデザインすることの必要性について説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>C : ④今後の学びについて、広い視野を持つことができる。</p> <p>⑤学ぶ段階、学んでいる最中、学んだ後に、振り返りを実践する。</p>

4 資料 「学習設計マニュアル」

5. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	はじめに 第1章 第2章	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本のpはじめにiii～ixを読む。</li> <li>・第1章自分を取り巻く学習環境を知る</li> <li>第2章学習スタイルを把握する を読む。</li> <li>・はじめにixに掲載の読み方に基づき取り組む。</li> <li>・VAKT 学習スタイルを学習にどう生かすか考える。</li> </ul>	Classi 配信 名：学び方を学ぼう①	① ③ ④
第2回	第3章	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章学び方を振り返る を読む。</li> <li>・はじめにixに掲載の読み方に基づき取り組む。</li> <li>・自分の学び方を振り返る。</li> <li>・6か月後、1年度に同じ問題に取り組むことを知る。</li> </ul>	Classi 配信 名：学び方を学ぼう②	② ⑤
第3回	第4章	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4章学びの深さを考える を読む。</li> <li>・はじめにixに掲載の読み方に基づき取り組む。</li> <li>・「知識は覚えるものだ」という意見や「正解がないから研究するのだ」という意見について、どう考えるか記述する。</li> </ul>	Classi 配信 名：学び方を学ぼうiii	④ ⑤